



## 昭和館・大和ミュージアム合同企画展の開催について

次のとおり、「昭和館・大和ミュージアム合同企画展」を開催致します。

### 1 企画展名

昭和館・大和ミュージアム合同企画展

再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～

### 2 主催

昭和館

### 3 共催・後援および協力

共催：大和ミュージアム

協力：一般財団法人広島県遺族会および日本遺族会第4ブロック

後援：広島県，広島県教育委員会，広島市，広島市教育委員会，呉市，呉市教育委員会，中国新聞社，NHK広島放送局，中国放送，広島テレビ，テレビ新広島，広島ホームテレビ，ちゅピCOM，FMちゅーピー76.6MHz，広島エフエム放送

企画協力：株式会社コアミックス

### 4 場 所

JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー（広島市中区加古町4-17）

### 5 会 期

令和7年5月30日（金）～6月5日（木） 午前10時～午後5時

### 6 入場料

無料

### 7 概 要

東京都千代田区にある昭和館は、広島県呉市を舞台とした漫画『この世界の片隅に』に登場する人物や風景、当時の暮らしに関わる実物資料を使った再現展示を試みます。また、大和ミュージアムは戦艦「大和」・戦艦「長門」の関連資料や、姉妹館提携協定を結ぶ戦艦ミズーリ記念館の関連資料も展示します。

### 8 オープニングセレモニー

日時：令和7年5月30日（金）9時30分から

会場：JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー

あわせてセレモニー後に担当者による展示解説を行います。

## 戦後80年 昭和館・大和ミュージアム合同企画展 再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～

昭和館は、戦中・戦後に国民が経験した労苦を後世に伝えるため、昭和 10 年頃から昭和 30 年代までの歴史的資料を収集、保存、展示する施設です。

当館は平成 13 年(2001)から全国各地で巡回特別企画展を実施してきました。戦後 80 年を迎えるにあたり、広島県広島市において大和ミュージアムと合同して、企画展を開催する運びとなりました。

本企画展において、昭和館は、広島県呉市を舞台とした漫画『この世界の片隅に』に登場する人物や風景、当時の暮らしに関わる実物資料を使った再現展示を試みます。原作者のこうの史代さんが漫画を描く際に参考にした実物資料や「残飯雑炊」の復元品など、作品の中に登場するアイテムが多数展示されます。漫画の世界観を立体的に感じていただければ幸いです。

大和ミュージアムは、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する施設です。大和ミュージアムは今年で開館 20 周年を迎えますが、大規模リニューアルのために現在は休館しています。そのため、ご覧いただけない常設展示室の資料や初公開資料などを展示します。

さきの大戦終結から 80 年という節目の年を迎え、戦争展示を担う 2 つの博物館がそれぞれの切り口で昭和の時代を展示・紹介します。

【 会 期 】	令和7年5月30日(金)～6月5日(木)
【 時 間 】	午前10時～午後5時 ※初日の5月30日(金)9時30分からオープニングセレモニーを行います。 ※セレモニー終了後、職員によるブリーフィングを行います。
【 会 場 】	JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー (広島市中区加古町4-17)
【 入 場 料 】	無料
【 主 催 】	昭和館
【 共 催 】	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
【 後 援 】	広島県 広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会 呉市 呉市教育委員会 中国新聞社 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ テレビ新広島 広島ホームテレビ ちゅピCOM FMちゅーピー76.6MHz 広島エフエム放送
【 協 力 】	一般財団法人広島県遺族会および日本遺族会第4ブロック
【 企 画 協 力 】	株式会社コアミックス
【 問 い 合 わ せ 】	〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1 TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575 昭和館 学芸部 <a href="https://www.showakan.go.jp/">https://www.showakan.go.jp/</a>
【 備 考 】	昭和館の事業は厚生労働省より委託を受け運営されております。

**展示資料点数：実物・写真・映像・漫画グラフィック あわせて 約120点**  
**昭和館「再現展示『この世界の片隅に』 ～よみがえる昭和の情景～」**  
**《展示構成》**

**『この世界の片隅に』 概要**

『この世界の片隅に』は広島県出身の漫画家・こうの史代による作品で、平成 18 年(2006)から翌年にかけて「冬の記憶」「大潮の頃」「波のうさぎ」の3編を読み切りで発表後、『漫画アクション』(双葉社)平成 19 年 1 月 23 日号から平成 21 年 2 月 3 日号誌上で連載された。第 13 回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞するなど、作品は高い評価を受けていたが、平成 28 年に片渕須直監督による劇場アニメーション映画が公開されると、全国で大ヒット、社会現象にもなった。

こうの史代にとっては『夕凧の街 桜の国』(双葉社)以来となる、広島と戦争をテーマとした作品である。軍港の街である広島県呉市を舞台に、戦時下の市井に生きる人々の物語が精彩に描かれている。

昭和 9 年(1934)から昭和 21 年までの約 12 年間、主人公である北條(旧姓・浦野)すずの人生を追う形で物語は展開する。

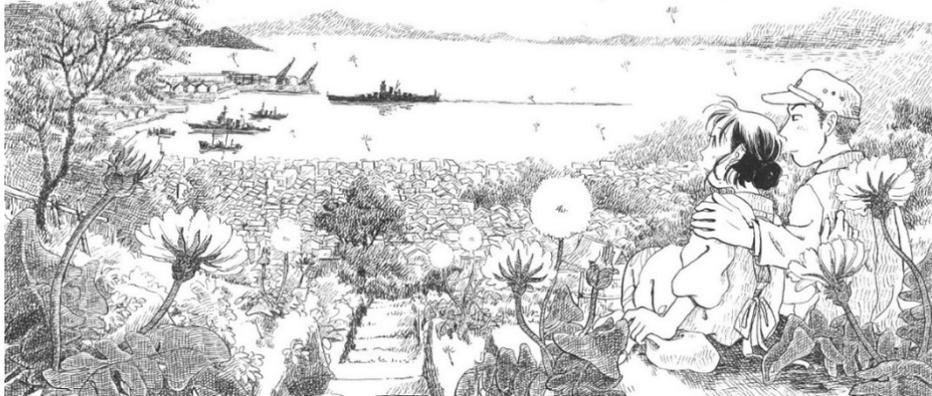


『この世界の片隅に 新装版』 下巻 カバー絵 ©こうの史代/コアミックス

**I. 冬の記憶・大潮の頃・波のうさぎ ～昭和 9 年から昭和 13 年まで～**

	 <p>「波のうさぎ(13 年 2 月)」より ©こうの史代/コアミックス</p>
<p>浦野すず(尋常小学校 6 年)12 歳          本作品の主人公。大正 14 年(1925)生まれ、広島市江波出身。実家は海苔漉きを営む。おっとりした性格で、絵を描くことが大好きな少女。</p>	

## Ⅱ. この世界の片隅に ～昭和 18 年 12 月から昭和 19 年 7 月まで～



「この世界の片隅に 第 7 回 19 年 4 月」より ©この史代／コアミックス

灰ヶ峰から戦艦「大和」を眺めるすずと周作

昭和 19 年 4 月 17 日、改装と公試運転を終えた戦艦「大和」が呉港に入港した。灰ヶ峰の中腹にある段々畑で呉港を眺めるすずと周作。「大和」の大きさに驚くすずに対して、周作は「お帰り」言うたってくれ、と声をかけた。

## Ⅲ. この世界の片隅に ～昭和 19 年 7 月から昭和 20 年 4 月まで～



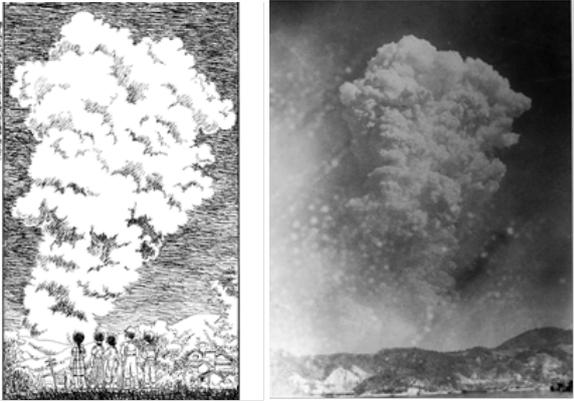
「この世界の片隅に 第 23 回 20 年正月」より ©この史代／コアミックス

アイコクイロハカルタ

国民学校の児童を対象とし、遊びながら愛国心を育むことを企図したカルタ。内閣情報局認定、日本少国民文化協会が制定した。読み札の句は、約 26 万の応募の中から選ばれた。

昭和 18 年(1943) 12 月

## IV. この世界の片隅に ～昭和 20 年 4 月から昭和 21 年 1 月まで～

 <p>「この世界の片隅に 第 37 回 20 年 8 月」より          ◎この史代／コアミックス</p>	
<p>呉からみたきのこ雲          呉市若葉町にあった呉海軍工廠砲煩実験部(現・海上保安大学校)から撮影された原爆のきのこ雲。          昭和 20 年(1945)8 月 6 日          個人蔵</p>	<p>原爆瓦          爆心地付近、原爆ドーム(広島県産業奨励館)横にあった西蓮寺の屋根瓦。熱線の直射を受けて表面が溶解し、泡状に固まっている。この瓦は西蓮寺住職から檀家に贈られたもの。          昭和 20 年(1945)</p>

# みどころ こうの史代さんの原画を展示

## 「広島県呉市 ある家族の団らん」 ☆☆ 原画5点を展示 ☆☆

広島県呉市は、当時東洋一の軍港といわれていました。現在でも戦艦「大和」を建造したまちとして知られています。軍港のまち呉に住むある家族の団らんが、戦中・戦後を通してどのように変化していくのかを、漫画家この史代さんの原画イラストで紹介します。

	
<p>昭和 12 年(1937)頃          この年の 7 月に盧溝橋事件がおき、日中戦争が始まりました。戦争の影響は子どもたちの遊びにも現れてきます。兵隊ごっこが大人気。いろはかるたには「陸奥と長門は日本の誇り」と謳われたように、海軍の軍艦は子どもたちの憧れの的でした。</p>	<p>昭和 20 年(1945)          呉軍港を中心に、米軍は度重なる空襲を実施しました。7 月になると、市街地にも空襲が及びました。呉で暮らす人たちは、灯火管制の下で、頻繁に鳴り続ける警戒警報を聞きながら、空襲に備えました。</p>

## 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)

### 《 展示構成 》

大和ミュージアムが所蔵する高松宮妃殿下が戦死者を悼んで詠まれた直筆の和歌、戦艦「大和」・戦艦「長門」の関連資料や、姉妹館提携を結んでいる戦艦ミズーリ記念館の資料を展示します。

	
<p><b>戦争柄の布</b>            明治後期から昭和初期、兵器や軍人を図柄とした「戦争柄」と呼ばれる着物が登場しました。この布には屈曲煙突を装備した「長門」型戦艦の姿が描かれています。            昭和初期</p>	<p><b>戦艦「ミズーリ」の甲板材</b>            大和ミュージアムと戦艦ミズーリ記念館が姉妹館提携協定を結んだ際に、戦艦ミズーリ記念館から贈られた甲板材です。            平成 27 年(2015)</p>

### 【問い合わせ】

TEL:03-3222-2577 担当:昭和館 学芸部

**※情報の掲載にあたっては、担当まで必ずご一報下さい。**



昭和館は、昭和の時代に国民が経験した戦争の記憶を継承し、またその時代の国民生活に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、その労苦を次世代へ伝える国立の施設です。



©この時代のコアミックス

戦後80年

# 昭和館・大和ミュージアム 合同企画展

再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～

令和7年(2025) 5月30日(金)～6月5日(木)

午前10時～午後5時

**会場** JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー

**所在地** 広島市中区加古町4-17

**主催**  昭和三館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575

X: <https://x.com/showakankudan>

f: <https://www.facebook.com/showakankudan>

無入  
料場

**共催**  大和ミュージアム

呉市海事歴史科学館

**後援** 広島県 広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会 呉市 呉市教育委員会  
中国新聞社 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ テレビ新広島  
広島ホームテレビ ちゅピCOM FMちゅーピー76.6MHz 広島FM

**協力** 一般財団法人広島県遺族会および日本遺族会第4ブロック

**企画協力** 株式会社コアミックス

お問い合わせ 昭和三館 学芸部03-3222-2577【月曜日休館】



 昭和三館

(厚生労働省委託事業)

戦後80年

# 昭和館・大和ミュージアム 合同企画展

再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～

昭和館は、戦中・戦後に国民が経験した労苦を後世に伝えるため、昭和10年頃から昭和30年代までの歴史的資料を収集、保存、展示する施設です。

当館は平成13年(2001)から全国各地で巡回特別企画展を実施してきました。戦後80年を迎えるにあたり、広島県広島市において大和ミュージアムと合同して、企画展を開催する運びとなりました。

本企画展において、昭和館は、広島県呉市を舞台とした漫画『この世界の片隅に』に登場する人物や風景、当時の暮らしに関わる実物資料を使った再現展示を試みます。原作者のこの史代さんが漫画を描く際に参考にした実物資料や「残飯雑炊」の復元品など、作品の中に登場するアイテムが多数展示されます。漫画の世界観を立体的に感じていただければ幸いです。

大和ミュージアムは、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する施設です。大和ミュージアムは今年で開館20周年を迎えますが、大規模リニューアルのために現在は休館しています。そのため、ご覧いただけない常設展示室の資料や初公開資料などを展示します。

さきの大戦終結から80年という節目の年を迎え、戦争展示を担う2つの博物館がそれぞれの切り口で昭和の時代を展示・紹介します。

## 内容構成

### ● 昭和館巡回特別企画展

「再現展示『この世界の片隅に』  
～よみがえる昭和の情景～」

### ● 大和ミュージアム展示資料

- ▶ 高松宮喜久子妃殿下が戦死者を悼んで詠まれた直筆の和歌
- ▶ 戦艦「長門」の関連資料
- ▶ 姉妹館提携協定を結ぶ戦艦ミズーリ記念館の関連資料 ほか



旧瀬原家住宅 ミツ蔵

©この史代 / コアミックス

### ▶ JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー

〒730-0812 広島市中区加古町4-17

アクセス 《JR広島駅から》

#### ● 市内電車利用の場合

広島港行(紙屋町経由)―市役所前下車(600m)  
江波行―舟入町下車(400m)

#### ● バス利用の場合

広島バス24号線  
吉島営業所行または吉島病院行―加古町下車(200m)

